

介護保険料月額 全国平均 6,000 円台に 前期比+2.5%

厚生労働省は、第8期(2021年度～23年度)の第1号被保険者の介護保険料について発表しました。1号被保険者基準月額全国平均は6,014円(前期5,869円)で、前期より2.5%(145円)上がりました。

最も高かった都道府県は大阪府(前期比+2.9%)と沖縄県(同▲0.4%)の6,826円、最も低かったのは千葉県(同+2.3%)でした。埼玉県は前期より423円高い5,481円で、+8.4%と全国で最も大きな上げ幅となりました。

一方、前期よりも県内平均額が下がったのは、山梨、鳥取、山口、長崎、熊本、沖縄の6県です。平均6,240円で前期比2.1%の引き下げとなった熊本県では、県内45保険者のうち、13保険者が前期より引き下げ、21保険者が据え置きました。県担当者は「第6期中に熊本地震(16年)があったことなどで、介護サービス利用の伸びを見込み、7期で引き上げた保険者が多かったが、計画値ほど利用がなかったのでは」と話しています。

全国1,571保険者のうち、前期より引き上げた保険者は763(全体の48.6%)、据え置いたところは569(同36.2%)、引き下げた保険者は239(同15.2%)でした。

最も低かったのは、北海道音威子府村(人口729人、前期比+10.0%)と群馬県草津町(人口6,370人、据え置き)の3,300円。最も高かったのは、東京都青ヶ島村(人口168人)の9,800円で前期より12.6%引き上げました。前期に比べて引き下げ/引き上げ率が大きい保険者(上位5位)は表の通りです。

【引き下げ率 上位5保険者】

	保険者	前期比	第8期 保険料	高齢 化率	要介護 認定率
1	大阪府 千早赤阪村	▲24.5%	¥4,390	44.6%	14.4%
2	山口県 田布施町	▲20.5%	¥4,667	35.7%	16.1%
3	山口県 和木町	▲18.0%	¥5,000	27.0%	17.0%
4	福島県 葛尾村	▲16.3%	¥8,200	38.2%	25.7%
5	奈良県 黒滝村	▲15.6%	¥6,500	52.3%	19.6%

【引き上げ率 上位5保険者】

	保険者	前期比	第8期 保険料	高齢 化率	要介護 認定率
1	北海道 洞爺湖町	+33.3%	¥6,000	41.4%	19.1%
2	北海道 北竜町	+30.0%	¥6,500	43.4%	18.8%
3	京都府 南山城村	+28.4%	¥6,200	46.6%	23.0%
4	岐阜県 富加町	+27.9%	¥5,500	30.3%	17.6%
5	長野県 川上村	+27.3%	¥6,650	31.2%	16.3%
	長野県 朝日村	+27.3%	¥7,000	31.1%	16.9%

※高齢化率は20年1月1日現在

※要介護認定率は20年12月末現在

施設内療養でのかかりまし費用 療養者1人につき15万円支給

厚労省は先ごろ、高齢者施設で新型コロナウイルス感染症のクラスター等発生時の支援策として、施設内での療養を行った場合に療養者1人につき15万円の支給を行うなどとする事務連絡を出しました。

施設内で高齢者の感染者が発生した場合、病院への入院が原則ですが、病床ひっ迫等により施設内療養を行う介護施設等に対して、施設で必要となる追加的な手間について、療養者ごとに要するかかり増し費用として、従来の経費支援に加え、新たに補助を行います。

補助額は、施設内療養者1人につき、15万円。15日以内に入院した場合は、施設内療養期間に応じて1日1万円を日割り補助します。

補助の条件として、①必要な感染予防策を講じた上でのサービス提供②ゾーニング(区域別け)の実施③コホーティング(隔離)の実施、担当職員を分ける等の勤務調整④状態の急変に備えた日常的な入所者の健康管理⑤症状に変化があった場合等の保健所等への連絡・報告フローの確認——があります。

対象サービスは、特養、老健、介護医療院、介護療養病床、認知症グループホーム、養護老人ホーム、経費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、短期入所生活介護・療養介護の各サービスです。